

令和3年度 1月号

宝達志水町立宝達小学校



# 宝達山

目指す児童像

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆たくましくやりぬく子

## 「新しい年が始まりました。 どんな夢をもっていますか。」

校長 金谷 外志弘

新しい年を迎え、学校では、3学期がスタートしました。冬休みの間、子どもたちは、大きな事故やけがもなく、1月11日の始業式を迎えられたことに保護者やご家族の皆様方に感謝申し上げます。

さて、今年1年の始まりに、**どんな夢や目標をもたれたでしょうか。**最近、夢を話せない子どもが増えていると言われていす。無限の可能性をもった子どもたちなのに、夢を話せないのは少し残念な気がします。**どんな夢であれ、夢を話すことは子どもたちにとって大切なこと**と考えます。それは、**自分の目標を定めることに他ならない**からです。少し先の長い目標であります、

**それを実現するために努力しなければならないことが見えてくる**からです。去年は、日本でオリンピックが開催されました。オリンピック選手の皆さんは、昨日、オリンピックにでたいと思ったわけではありません。子どもころにオリンピックにでたいと夢を持ち、それを**実現するために努力を続けたきたことの証し**として、オリンピックに参加し、私たちに大きな感動を伝えてくれたのです。

3月17日の卒業式、24日の修了式までに学校で今の学年で学ぶことは、あと40日ほどになりました。1年のまとめをし、来たるべき次年度への備えをするときです。**夢や目標の実現に向かって、こつこつと努力を続けることが大切**です。しかし、努力しても、なかなか成果が目に見えるものとして現れないことがあります。また、いやになってやめてしまおうと思うことがあるかもしれません。



左義長ありがとうございました(1月15日)



なわとび大会より(1月18日)

子どもたちの**夢や目標は、簡単に実現しないことが当たり前だ**ということを実感させることも大切です。小学生の時に、焦らずあきらめず**こつこつと続ける大切さを実感してほしい**と願っています。そして、その応援団としてご家族や学校が後押しを続けることが大切だと考えています。

2022年も宝達小学校の教育活動にご理解、ご支援を宜しくお願いいたします。